

第90回 宗教改革②

1 皇帝とルター派との対立と妥協

- 16世紀前半、神聖ローマ帝国には、ルター派の相手をする余裕は全くなかった。
- () とのイタリア戦争は、さらに激しさを増していた。
- イスラーム勢力の () が、1526年にハンガリーを征服した。
→そして1529年には、神聖ローマ帝国の () を包囲した(第1次)。

- カール5世は、神聖ローマ帝国があるドイツ地域の混乱をとりあえずおさめるために、一時的にルター派を認めた。
→しかしオスマン軍が撤退すると、シュパイアー帝国議会でルター派を再禁止した。
→ルター派は、この皇帝の行動に対して激しく抗議した。
→そのためルター派は、() と呼ばれるようになった。
※後にルター派以外も含む新教全体をこう呼ぶようになった。



フランス王フランソワ1世

ヴァロワ朝のフランス王で、カール5世の最大のライバルとされる。芸術の保護者としても知られ、あのレオナルド・ダ・ヴィンチを保護したことで有名。



神聖ローマ皇帝カール5世

なんだかんで16世紀前半の最も重要な人物のひとりだろう。好きな食べ物は、よく冷えたビールとアンチョビ。性格はお人好し。



オスマン帝国のスレイマン1世

オスマン帝国は、当時世界最強の国であり、スレイマン1世の時に最盛期を迎えていた。地中海を支配し、貿易で莫大な富を生み出していた。第80回を復習。

- 1530年、さらにルター派の諸侯は、() を結成して、皇帝に武力で対抗した。
→1546年には、皇帝とルター派諸侯との間で、シュマルカルデン戦争が発生した。
→1555年、() で、両者は一応妥協した。



ツヴィングリ
ルターとは、協力しようとしたが、結局一致できなかった。

2 スイスの宗教改革

- ドイツ地域に続いて、神聖ローマ帝国から事実上独立していた() でも、宗教改革が進められていた。

- () …スイスの() で宗教改革を行った。
- () …スイスの() で宗教改革を行った。



カルヴァン
フランス人。ルターと
ならんで、宗教改革
におけるビッグネームである。

- カルヴァンは、1536年にバーゼルで出版した『
』において、ローマ教会の制度を完全に否定した。
→牧師と信徒の代表である長老が、協力して教会を運営する制度を確立した。
※これを() といい、政教一致の神権政治を行った。

<カトリック・ルター派・カルヴァン派の違い>

(1) どうすれば天国に行って救われるのか？

カトリック … () をすること。

ルター派 … () をすること。「 」

カルヴァン派…

(2) お金もうけはしていいのか？

カトリックとルター派…金もうけはよくないことである。

カルヴァン派 … 労働は神の命ずる義務であり、勤労の結果、
お金がたまることは悪いことではない。

※ ()

→カルヴァン派は商工業者のあいだに広く普及した。



マックス＝ヴェーバー

近代のドイツの学者。
『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のなかで、カルヴァン派の考えが、資本主義発展の原動力となったと主張した。

(3) その他…プロテスタントでは、聖職者と一般信徒との区別を廃した(万人司祭主義)。

<カルヴァン派のヨーロッパにおける呼ばれ方>

- ・イングランドでは ()、スコットランドでは ()、
ネーデルラントでは ()、フランスでは () と呼ばれた。

3 カトリックの改革

- ・宗教改革に対して、ローマ教会の内部からも改革の試みが始まった。
- ・1545年、ローマ教皇パウルス3世は、() で教皇の至上権を確認するとともに、教会の腐敗をなくして海外布教をすすめることを決めた。
※このカトリックの改革を () という。

- ・すでに1534年、カトリックを広めるため、() が結成されていた。
() …もとスペインの軍人で、イエズス会の初代総長。
() …インドや日本において布教活動を行った。
() …イタリア人で、中国の明で布教活動を行った。

- ・イエズス会などの活動により、南ヨーロッパにはプロテスタント勢力はひろがらず、アジアや中南米にもカトリックが布教されていった。
- ・カトリックは教えを守るため、異端者を裁く () を行い、禁書目録を作成した。これは後に () という形で、多くの犠牲を出すこととなった。
・16～17世紀には、双方の間に迫害や宗教的な内戦といった対立が生じた。



ロヨラ

イエズス会の規律は、軍隊並に厳しく、上司には絶対服従とされた。上智大学のイグナチオ教会は、彼にちなんでいる。



ザビエル

頭頂部は剃っているのであり、ハゲているわけではない。最後は中国で亡くなった。世界史よりも日本史で重要な人物であろう。



魔女狩りの様子

魔女狩りで犠牲となった人は、身寄りのない老人や、孤独な女性が多かったとされる。激しい拷問によって、自白を強制された。